

第 2 回 戸田市都市再生協議会

第 2 回北戸田駅周辺の未来を考える
まちづくりワークショップの結果

令和 5 年 11 月 22 日

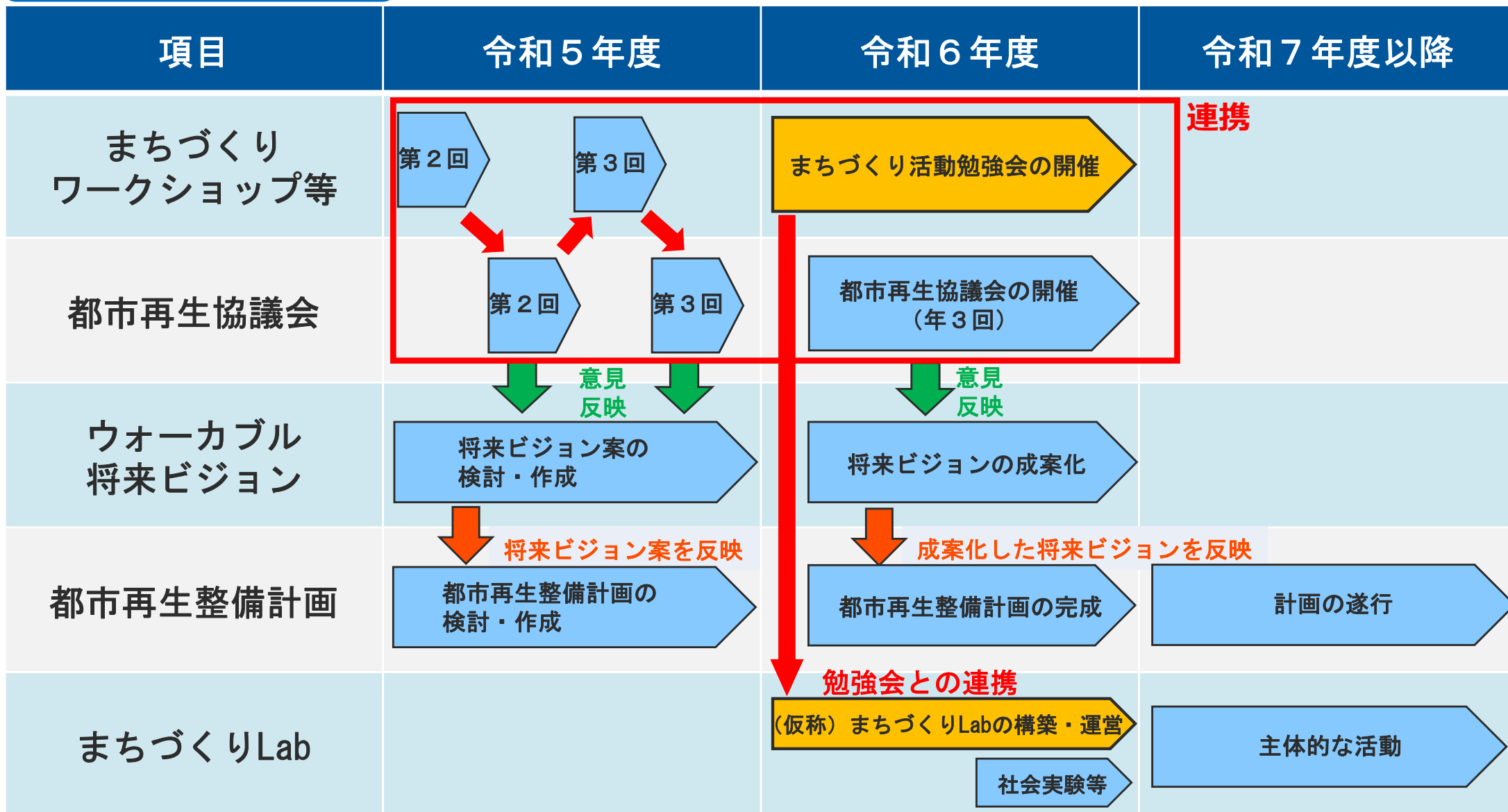
戸田市

ワークショップの位置づけ

まちなかウォーカブル推進事業 ～居心地が良く歩きたくなるまちへ～

戸田市都市計画課

想定事業スケジュール



第2回ワークショップの開催概要

第2回ワークショップ開催概要

- 第1回ワークショップの参加者を基本に、一般公募による戸田市民に加えて、地元の若手の事業者や戸田市商工会、芦原町会など、地元根差した組織の方々にご参加いただいた。
- 参加者は計35名であり、4チームに分け、最初に第1回ワークショップの振り返りを行った後、第1回ワークショップの成果を踏まえた北戸田駅周辺の将来像、将来像を実現するためのアクションについて、様々な切り口で議論を行うワークショップを開催した。

開催日時

令和5年10月28日（土）9時30分～12時00分

内容

**テーマ：北戸田駅周辺は将来どんなまちになってほしい？
～駅前・駅周辺の将来像について議論しよう！～**

ワーク① 将来像を 考える

第1回ワークショップのアイデア出しを踏まえて、公園や高架下、笹目川などの活用により「こんな駅前・駅周辺になると面白そう」という視点で、“北戸田らしさ”のある北戸田駅前・駅周辺の将来像を考える。

ワーク② アクションを 考える

理想とする将来像を実現するために必要なアクションとして「今後を何をするべきか？」について、別途5W1H形式で作成したワークシートを基に具体的にアクションプランを考える。

第2回ワークショップ開催の様子

- 第1回ワークショップのアイデア出しを踏まえて、公園や高架下、笹目川などの理想的な在り方として将来像を考え、その後、理想とする将来像を実現するために必要なアクションを考えるワーキングを行った。

ワーキング①「将来像を考える」の様子



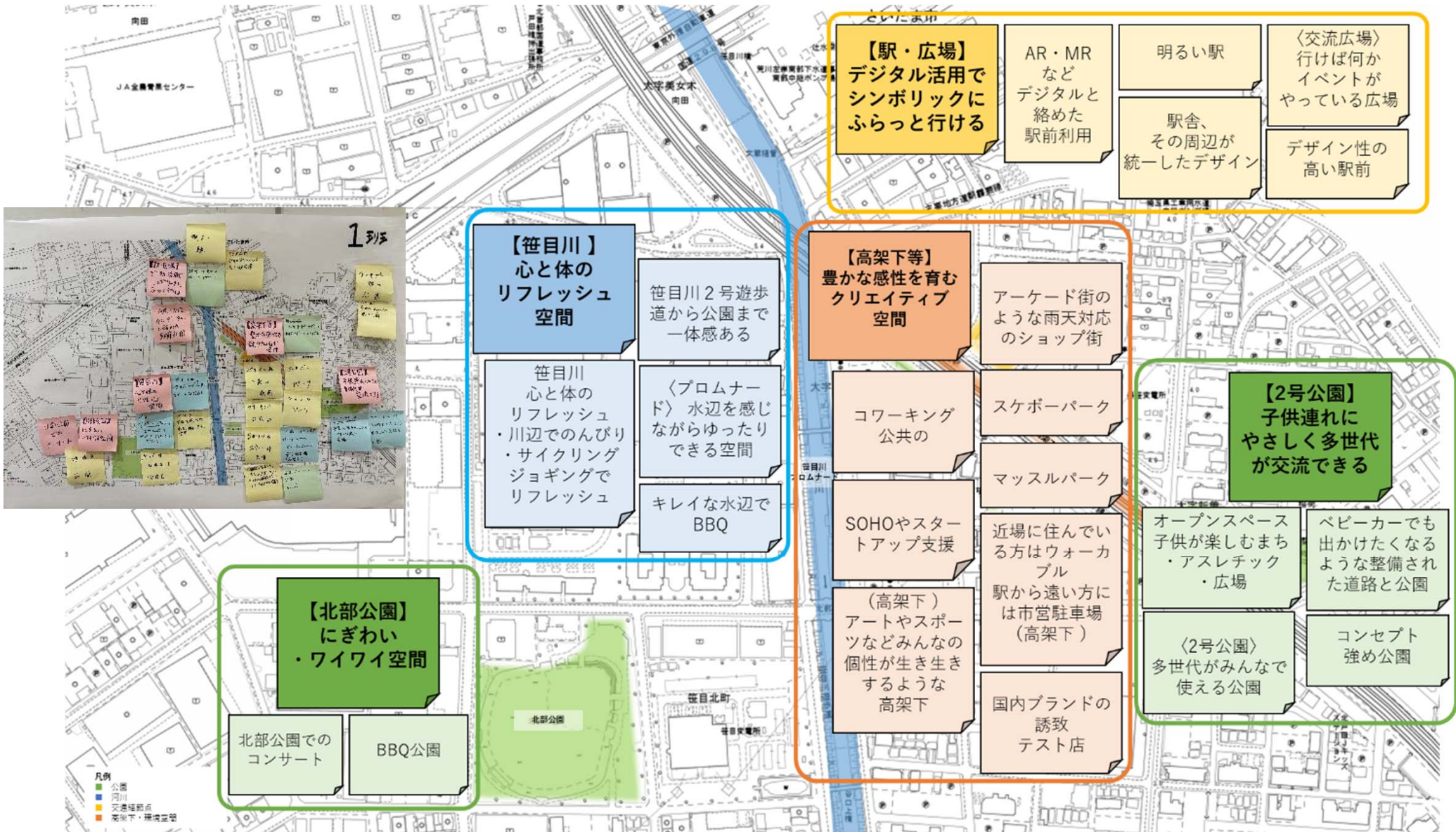
ワーキング②「アクションを考える」の様子



第2回ワークショップのまとめ

【参考】グループワーク①「将来像を考える」の結果の一部

- 各チーム毎に意見を書き出して、グルーピングを行った。



グループワーク①「将来像を考える」の取りまとめ

- エリアごとに将来像を整理すると場所の使い方や目的性などに特徴がみられた。「明るい空間構成」「豊かな感性や自己実現を支える」「遊びやスポーツを通じた健康づくり」「豊かな子育て環境」「多世代交流の創出」等の実現・質の向上を志向する将来像がみられた。

※得られた意見の文意が変わらない程度に文章を編集している。

エリア	将来像を構成するキーワード			将来像（案）
駅前	# 明るい駅 # 統一したデザイン # AR/MRデジタル # ライトアップ # イルミネーション	# マルシェ # 憩いの場 # イベントスペース # 駐車場 # 自転車	# ピクニック # 文化施設 # 作品展示 # 遊び走り回れる 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. デジタル活用でシンボリックに気軽に行くことができる駅前 2. 明るいイメージのある空間で、人が集まり賑わう駅前 3. 飲食を通じて交流が生まれ、交通の利便性が優れる誰でもアクセスしやすい駅前
高架下	# イベント # コワーキング施設 # シェアキッチン # スケボーパーク # ボルダリング	# 駐車場 # トイレ # イベントスペース # フリースペース # アーケード街	# SOHO # チャレンジショップ 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. アートや音楽、ものづくりまで豊かな感性や創造力が育まれるクリエイティブな空間 2. スモールビジネスや実験的な取組など、意欲的な事業者や若い人がチャレンジできる活躍の場 3. スポーツを“する”/“見る”いずれもできるダイナミックなスポーツ空間
公園	# オープンスペース # アスレチック # 多世代が使える # 強いコンセプト # カフェがある公園 # 子どもが楽しめる	# ベビーカーでも行きやすい # 球技OK # バーベキュー # ミニキャンプ # イベント広場	# ゴミがないきれいな公園 # コンサート開催 # 親子スポーツ大会 # 遊びサポーターの設置 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども連れにやさしく多世代が交流できる使い勝手の良い公園 2. 多世代が集い交流し遊びを通して身も心も健康になれる公園 3. ルール守り自由に使える場所 カフェなどで集える場所
笹目川	# イベント # 花壇 # 自然を感じる # きれいな川づくり # 憩い・リフレッシュ	# サイクリング # ジョギング・散歩 # プロムナード # 水辺・水遊び # リビング的な空間	# 遊歩道 # 公園との一体感 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな自然に触れながら、憩い学べる川とプロムナード 2. 水辺を感じながら心身共にリフレッシュできる空間 3. 多様なイベントの実施や文化芸術活動が盛んなアーティストが育つ空間
道路	# 歩いて楽しい # 公園・駅・川をつなぐ # 回遊 # 飲食店	# ランニングロード # サイクリングロード # イルミネーション	# 木陰・夏場でも涼しい # 植樹 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 見た目が明るく、楽しみながら歩いてまちなかをぐるりと回遊したくなる道づくり

【参考】グループワーク②「アクションを考える」の結果の一部

- 各チーム毎に5W1H形式で作成したワークシートを基に将来像を実現するための具体的なアクションプランを考えた。
- 最後にグループワーク①の検討結果とともに全体に向けて発表を行った。

将来像を実現するために必要なアクションプラン		1班
What 何を？	デザイナー（MADE IN JAPAN）支援ショップ（高質な生活雑貨・書店・アパレル・アウトドア）	
Where どこで？	高架下、駅前	
Who 誰が？	リーシングを担当できる企業	
Whom 誰に？	若者、おじいさん、来訪者、子育て世代	
Why なぜ？	・クリエイティブな人々を呼び寄せる ・目的地性を持たせて日頃から北戸田に●●あるように	
How どのように？	・管理団体を立ち上げ（会社or市役所） ・戸田市内の企業に委託	

将来像を実現するために必要なアクションプラン		2班
What 何を？	全ての店、公園、ニーズの把握（データ分析、意見聴取など） 飲食店できるのか把握 予算確認	
Where どこで？	公園、その他（道路）	
Who 誰が？	市の担当者、業者	
Whom 誰に？	子ども、学生・若者、来訪者、子育て世代	
Why なぜ？	飲食、憩える場所が少ないから	
How どのように？	各企業に誘致し、交渉、やりたい人の募集→育成 許可申請	

将来像を実現するために必要なアクションプラン		3班
What 何を？	『アーティストが育つ川』音楽、ダンスパフォーマンス、大道芸、お笑いetc. 自由に使える電源・ステージ	
Where どこで？	笹目川	
Who 誰が？	アーティストを目指す人	
Whom 誰に？	来訪者	
Why なぜ？	イベント等の本格的なステージ発表ではなく、練習を重ねて自由に人に見てもらえる場所がない	
How どのように？	ミニステージみたいな少し段差を利用したスペースに電源を設置	

将来像を実現するために必要なアクションプラン		4班
What 何を？	公園で幼児～若年層が安心して遊び過ごせるように、時間帯別に利用者層を分けた駅前の交流広場・公園	
Where どこで？	公園、駅前広場	
Who 誰が？	行政がハード整備をしてほしい	
Whom 誰に？	子ども／学生・若者	
Why なぜ？	こどもが遊べるためには、安全である必要がある。そのため、芝生などがないのではないかな	
How どのように？		

グループワーク②「アクションを考える」の取りまとめ（駅前）

- 駅前では、北戸田駅周辺には立ち寄るための目的やコンテンツが不足している課題を踏まえ、マルシェやキッチンカー等の飲食系の事業展開や地域資源を活用したイベント実施等により、子どもからお年寄りまであらゆるターゲット層が北戸田駅を訪れ、賑わいと交流を創出させていくアクションがみられた。

エリア	何を	誰が	誰に	なぜ	どのように
駅前	■ キッチンカーや露店等が立ち並ぶ場所作り	出店したい人	学生・若者、来訪者	にぎわいを創出、出店を目指している人のため。	新鮮野菜、様々な食事を提供する。
	■ 『食を通じて交流する場』（地産地消的な野菜、豆腐etc.）食を買えるマーケットやビアガーデン的なテーブル&椅子スペースで少し飲食できるオープンスペースを作る	農家さん、出張飲食店	来訪者	そういった場所がないので北戸田のシンボリックな場所に、北戸田で降りてもらうため。	通りがかりでもわざわざ行ってみようと思える人もできるような野外のオープン飲食スペースを作る。
	■ 野外スタジオを整備	ダンスをしたい人 みんなの前で歌いたい人	子ども、学生・若者、おじいさん・おばあさん、来訪者	感性の育み、人と人との交流を創出するため。	学校と連携し、ダンス授業も駅前で披露する等SNSで交流広場の状況を発信する。
	■ 北戸田にある地域資源を活用したイベント実施	市民団体が主体	市民、来訪者	—	資金に関しては戸田駅の事例を参考にクラウドファンディングで調達する。
	■ 地域マルシェの開催	地域の農家やお店の方	子ども、学生・若者、おじいさん・おばあさん、来訪者、子育て世代	駅前交流広場のにぎわいづくり、食と交流の充実のため。	他地域の高架下マルシェ（南与野マルシェ等）鉄道会社と協力して誘致する。
	■ 時間別に使うことのできる、シェアキッチン店舗の設置	地域の事業者・フリーマーケット的に地域の市民団体がチャレンジする・行政が箱を整備	地域住民／来訪者	公共性や使い方を踏まえて、行政が箱を作ってもらえるとうれしいため。	—
	■ 駅前に店舗（常設、仮設店舗・キッチンカー）、カフェ等の整備、図書館	民間事業者が主体、市	地域の住民が集い、にぎわう	蕎麦屋やコーヒーショップなど、北戸田駅周辺に不足している店舗や種類があるため。	店舗としてしっかり作る。
	■ 緑化、掃除 水やりを実施	市民も協力、若者	学生・若者	—	—
	■ 時間帯別に利用者層を分けた駅前の交流広場の整備	行政がハード整備	子ども／学生・若者	子どもが遊べるためには、安全である必要があるため。	—

グループワーク②「アクションを考える」の取りまとめ（高架下・公園）

- 高架下では、**文化芸術活動の拠点やスポーツ観戦・練習としての活用等、クリエイティブ要素とアクティビティ要素を併せ持ったアクション**がみられた。
- 公園では、特に**子どもを対象とした安全かつ制約が少ないのびのびと遊べる環境整備やカフェ等の憩える場所の整備に関するアクション**がみられた。

エリア	何を	誰が	誰に	なぜ	どのように
高架下	■ 野球、ソフトボール練習、サッカー試合（ゴールの設置）、スポーツ選手の育成	すべての球児、子どもへ	子ども、学生・若者、おじいさん・おばあさん、来訪者、子育て世代	練習するスペース確保のため。	野球、サッカーに必要な用具の設置する。
	■ スポーツ観戦&練習できる高架下の活用	—	—	—	—
	■ デザイナー（MADE IN JAPAN）支援ショップ（高質な生活雑貨・書店・アパレル・アウトドア）の展開	リーシングを担当できる企業	若者、おじいさん、来訪者、子育て世代	クリエイティブな人々を呼び寄せて、目的地性を持たせて日頃から北戸田に若者が集まるようにするため。	管理団体を立ち上げるもしくは（会社or市役所）、戸田市内の企業に委託する。
公園	■ 全ての店、公園、ニーズを把握（データ分析、意見聴取など）したうえで、飲食店を展開	市の担当者、業者	子ども、学生・若者、来訪者、子育て世代	飲食、憩える場所が少ないから。	各企業に誘致し、交渉、やりたい人を募集、育成する。許可申請も必要。
	■ アンケートなどニーズ調査したうえで、カフェ展開	市、業者	子ども、学生・若者、おじいさん・おばあさん、来訪者、子育て世代	現状で少ないから。	企業を誘致する。
	■ 広い場所と高いネットの整備	行政と町会等	子ども	気軽にバットが使える場所が少ない（野球等）から。	ルール作りと、空間整備が必要。
	■ 緑化、掃除 水やりを実施	市民も協力、若者	学生・若者	—	—
	■ 幼児～若年層が安心して遊び過ごせる公園の整備、芝生広場	行政がハード整備をしてほしい	子ども／学生・若者	子どもが遊べるためには、安全である必要があるため。	—

グループワーク②「アクションを考える」の取りまとめ（笹目川・道路・エリア全体）

- ・ 笹目川では、音楽やアート等のイベント実施による文化芸術活動の発信やベンチ等の設置による憩いの場づくり等、人の往来が多い笹目川沿いのプロムナード空間のポテンシャルに着目した賑わいと交流創出に関するアクションがみられた。
- ・ 道路では、植樹イベントやアートイベントの開催のほか、各エリアを束ねるようなウォーカブルエリア全体のコンセプトやデザインコードを定めることで、統一性のある空間づくりを目指す点もアイデアとして得られた。

エリア	何を	誰が	誰に	なぜ	どのように
笹目川	■ 笹目川での音楽やアートイベントの実施	地域のアーティスト、アーティストを目指す学生等	子ども、学生・若者、おじいさん・おばあさん、来訪者、子育て世代	開放的な空間を有効活用し、川を身近に感じてもらい、美化にもつなげたいため。	発表の場を求めるアーティスト達が協力して開催する。
	■ 『アーティストが育つ川』音楽、ダンスパフォーマンス、大道芸、お笑いetc.自由に使える電源・ステージの設置	アーティストを目指す人	来訪者	イベント等の本格的なステージ発表ではなく、練習を重ねて自由に人に見てもらえる場所がないため。	ミニステージのような少し段差を利用したスペースに電源を設置する。
	■ 笹目川周辺で縁日のイベントが実施され賑わいが創出されつつも、ベンチや椅子がありゆっくりした時間が暮らせる空間づくり	行政が空間を整備しつつ、民間でコミュニティを生む	地域住民	集った人同士でコミュニケーションができることよいため。お店の人を介在してコミュニケーションを生んでいけるとよいため。	水道と電気、テーブルが必須となる。
道路	■ アートを道に配置	公募する、学生に依頼	—	—	プロのアーティストに依頼する。
	■ 緑化、掃除 水やりを実施	市民も協力、若者	学生・若者	—	—
エリア全体	■ デザインブランディングの制定	プロジェクトメンバー	その他（クリエイター）	感度の高い方を集めるにはこちらがかつてよくなる必要があるため。	コンセプト・キャッチコピー・webサイト・SNS・キャラクター等包括的に使ったアプローチを行う。
	■ 植樹イベントの開催	木を植えたい全ての人	子ども、学生・若者、おじいさん・おばあさん、来訪者、子育て世代	将来北戸田駅周辺が緑であふれるようになってほしいため。	北戸田駅を散歩しながら水をあげたり成長過程を見守る。

第2回ワークショップ成果のまとめ

- ワーキング①「将来像を考える」からワーキング②「アクションを考える」までの各班の検討結果を踏まえ、将来像（案）とそれらを実現するためのエッセンスとなり得るアクション（案）を整理し、両者の関連性を以下のとおり整理した。
- 駅前及び高架下はアクティブ要素の強い“動的”な位置づけとし、笹目川や公園は憩いやリフレッシュ要素の強い落ち着いたある“静的”な位置づけとすることが、将来像及びアクションの基本方針と導かれる。

エリア	将来像（案）	将来像を実現するためのアクション（案）
駅前	～飲食やイベント等の多様なコンテンツを通じた交流が生まれ、多くの人が集まり、明るく賑わいのある駅前空間～	✓ マルシェやキッチンカー等の飲食や小売系の取組、イベント実施等により街に出かける動機をつくり、北戸田駅周辺の回遊性を向上
高架下	～文化芸術からスポーツまで豊かな感性や創造力を育み、表現できるクリエイティブ&アクティブな高架下空間～	✓ 意欲的な事業者や多世代がチャレンジできる場として、多様な用途が混在した個性と魅力ある取組展開による北戸田らしさの醸成
公園	～子どもから大人まで多世代が集い交流し、遊びと憩いを通して心身ともに健やかになれるウェルネスな公園～	✓ 親子が安全かつのびのびと遊べるハード・ソフト面の環境整備のほか、飲食用途の導入等による多様な生活シーンの形成
笹目川	～地域内へと人の往来を繋ぐプロムナードとして、水辺を身近に感じながらリフレッシュできる河川空間～	✓ 水辺空間の活用促進と居心地が良く歩きたくなるような仕掛けによる、憩いから賑わいまで多様な過ごし方の演出
道路	～地域内の魅力を体験し、楽しみながら歩いてまちなかを回遊したくなる駅前から公園、笹目川沿いを繋いだ道路空間～	✓ 沿道店舗が道路を活用しやすい制度、環境整備に取り組む等、公民連携により快適な歩行環境の構築